



Photo:stud

THE NAKAYAMA DAISHOGAI

第148回 農林水産省賞典 中山大障害 (J-GI)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 70,000,000円 28,000,000円 18,000,000円 11,000,000円 7,000,000円
付加賞 357,000円 102,000円 51,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 3歳61kg、4歳以上63kg、牝馬2kg減

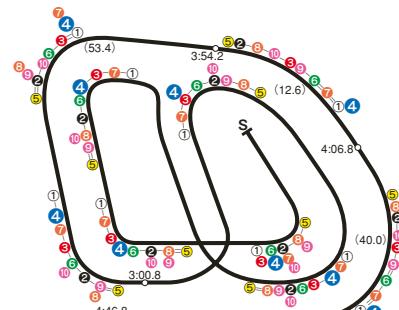
2025.12.27 中山 晴・良 芝4100m (国際)

種	馬名	性	齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	平均	馬体重	単勝	オッズ	調教師
						(着差)	通過順位	ハロン (増減)				
1	④ エコロデュエル	牡	6	63	草野太郎	4:46.8	2-2-1-2	14.0	480(-2)	1.51	岩戸孝樹(美浦)	
2	① ネビーム	牡	7	63	小牧加矢太	5	1-1-2-1	14.0	530(-6)	3.72	佐々木晶三(栗東)	
3	⑦ フェーレンペルク	牡	5	63	上野 翔	1½	3-2-3-3	14.0	482(+6)	10.64	千葉直人(美浦)	
4	⑥ シューンベロシティ	牡	7	63	高田 潤	4	5-5-4-4	14.1	470(-2)	5.33	武 英智(栗東)	
5	⑨ ブラチナドリーム	牡	6	63	石神深一	7	8-7-5-5	14.1	484(±0)	73.66	菊川正進(美浦)	
6	③ ピーターサイト	牡	5	63	森 一馬	½	4-4-6-6	14.1	478(-2)	29.75	村田一誠(美浦)	
7	⑩ メイショウウツイタ	牡	7	63	難波剛健	2	5-6-7-7	14.2	510(+2)	101.37	高橋義忠(栗東)	
8	⑧ アルデドゥオーモ	牡	4	63	伴 啓太	クビ	8-7-8-9	14.2	496(±0)	163.90	矢野英一(美浦)	
9	② タマモエース	牡	6	63	小野寺祐太	クビ	7-7-9-8	14.2	488(-4)	138.08	宮地貴穂(栗東)	
10	⑤ タンジェントアーク	駆	7	63	五十嵐雄祐	¾	10-10-10-10	14.2	448(+10)	206.10	田村康仁(美浦)	

単勝①150円(1%) 複勝①110円(1%) ①110円(2%) ⑦140円(4%) 枝連①-④220円(1%)

馬連①-④220円(1%) ワイド①-④130円(1%) ④-⑦230円(3%) ①-⑦320円(5%)

馬単④-①300円(1%) 3連複①-④-⑦550円(2%) 3連単④-①-⑦1,070円(3%)



上り 1マイル : 1:46.0 上り : 800m 600m
52.6 - 40.0

アラカルト

- 草野太郎騎手は中山大障害初勝利。JRA重賞は25年2勝目、通算6勝目
- 岩戸孝樹調教師は中山大障害初勝利。JRA重賞は25年2勝目、通算9勝目
- キタサンブラック産駒はJRA重賞通算24勝目
- 同一年の中山グランドジャンプ & 中山大障害の勝利は16、17年オジュウチョウサンに続く通算4回目
- 6歳馬の勝利は22年ニシノデイジーに続く通算24回目

エコロデュエル Ecoro Duel

牡 青鹿毛 2019.5.4生
北海道日高町 下河辺牧場生産
馬主・原村正紀氏 美浦・岩戸孝樹厩舎
馬名意味・冠名+決闘

クラリネットUSA系 F9-e	
キタサンブラック 鹿毛 2012	ブラックタイド 黒鹿毛 2001
	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘAIRE
クラリネットUSA Clarinet 鹿毛 2007	シュガーハート 鹿毛 2005
	サクラバクシンオー オトメゴロー
Giant's Causeway 栗毛 1997	Storm Cat
	Mariah's Storm
	Legs Lawlor 鹿毛 2002
	Unbridled Evil Elaine

5代までのインブリード: Lyphard S 5×S 5

INTERVIEW

下河辺行雄 社長(下河辺牧場)

積極的で強いレースをしてくれました

ネビーイームとの競り合いにはドキドキしましたが、平地の脚もある馬なので最終障害を飛越した後は比較的の安心して見ていました。積極的で強いレースをしてくれたと思います。牧場にとってこのレースが25年のJRA70勝目にあたり、大レースで一年を締めくくることができ、牧場全体がよい雰囲気になりました。26年も活躍してくれることを願っています。



秋の始動戦の東京ハイジャンプ(2着)で眼に外傷を負い、レース後の数週間は入院馬房で療養を余儀なくされたという本馬だが、「ギリギリのタイミング」(岩戸孝樹調教師)で怪我が癒えてからは、順調に調整を進められたそう。こうして迎えた大一番アクトウディット、オジュウチヨウサンに続く

父キタサンブラック

北海道日高町 ヤナガワ牧場生産 中央20戦12勝(ジャパンC_I、菊花賞G_I、有馬記念G_I、天皇賞(春)G_I 2回、天皇賞(秋)G_I、大阪杯G_I、京都大賞典G_{II}、スプリングS G_{II})、年度代表馬2回、最優秀4歳以上牡馬2回、18年から供用〔代表産駒〕イクイノックス(ジャパンC G_I、有馬記念G_I、天皇賞(秋)G_I 2回、宝塚記念G_I、ドバイシーマクラシック・首G_I、東京スポーツ杯2歳S G_{II}、日本ダービーG_I 2着、皐月賞G_I 2着)、クロワデュノール(日本ダービーG_I、ホープフルS G_I、東京スポーツ杯2歳S G_{II}、プランスドランジュ賞・仏G₃、皐月賞G_I 2着)、ソールオリエンス(皐月賞G_I、京成杯G_{III}、日本ダービーG_I 2着)、**エコロデュエル**(本馬)、ガイアフォース(セントライト記念G_{II}、富士S G_{II})、スキルヴィング(青葉賞G_{II})、他に重賞勝ち馬多数

母クラリネットUSA

北米11戦4勝(フレイミングペイジS・加L)、13年輸入
プラタナスロード(14 牝父ディープインパクト)不出走
ファゴット(15 牝父ディープインパクト)中央3戦0勝
ハーツシンフォニー(17 雄父ハーツクライ)中央18戦0勝、障害18戦2勝
シャンブル(18 牝父ハーツクライ)中央28戦4勝(シャングリラS、柏崎特別)、
地方4戦0勝

エコロデュエル

本馬(19 牝父キタサンブラック)中央10戦1勝、障害14戦5勝(中山大障害J・G_I、中山グランジアン賞J・G_I、京都ジャンプS・J・G_{III}、中山大障害J・G_I 2着、東京ハイジャンプJ・G_{II} 2着2回、阪神スプリングジャンプJ・G_{II} 2着、中山大障害J・G_I 3着)

獲得総賞金312,787,000円

クラリティー(22 牝父サトノダイヤモンド)中央4戦0勝、地方4戦3勝

※16、21、23、24、25(不受胎)、20(前年種付せず)

祖母レッグズローラー Legs Lawlor

アメリカ産 愛1勝

クラリネットUSA(07 前出)

リサージェンス Resurgence(10 牝父Awesome Again)北米4勝

曾祖母イーヴィルエレイン Evil Elaine

アメリカ産 北米4勝(コロナドS・L、スクールキルS 2着、ニューホープS 2着)、**フェイヴァリットトリック** Favorite Trick(BCジュベナイル・米G_I、ホープフルS・米G_I、米年度代表馬、種牡馬)の母、ムーンシャインメモリーズ Moonshine Memories(シャンデリアS・米G_I)の祖母

ジャンプ界の1年を締めくくる暮れの大一番・中山大障害は、4月の中⼭グランジアン賞を8馬身差で圧勝したエコロデュエルが圧倒的な支持(単勝1・5倍)を集めた。ソレイユジャングP、阪神ジャンプSを連勝中の勢に乗り、春(2着)の雪辱を期すネビーイームが対抗候補、10月の東京ハイジャンプでエコロデュエルを下し、障害賞6勝目を挙げたジューンベロシティが2頭に続く存在と目されたものの、王者は一枚も二枚も上の底力をアピール。ワンサイドの完勝劇を演じ、歴代3頭目となる同一年の春秋J・G I制覇を達成した。

前哨戦のイルミネーションジャンプIで眼に外傷を負い、レース後の数週間は入院馬房で療養を余儀なくされたという本馬だが、「ギリギリのタイミング」(岩戸孝樹調教師)で怪我が癒えてからは、順調に調整を進められたそう。こうして迎えた大一番アクトウディット、オジュウチヨウサンに続く

Sを逃げ切ったビーターサイトがまず先手を窺つたものの、最内枠からスピードに乗ったネビーイームが最初のコーナーで主導権を奪取、単騎の逃げに持ち込む。エコロデュエルの草野太郎騎手はこれを遠目に見遣りながら、離れた好位を追走。一方のジューンベロシティは待機策を選択し、中団でじっくりと脚を溜めて進んだ。

最初の難関・大竹柵障害、中盤に待受けた大いに垣障害も全馬、無事にクリア。軽快に風を切ったネビーイームはここから後続を引き離しにかかりたが、そうはさせじと草野騎手も早めに追撃、3コーナーの竹柵障害で逃げ馬の外に並びかけ、長い騎打ちが幕を開ける。直線半ばにかけて併せ馬の形で激しく火花を散らした2頭。とはいえ懸命に応戦したネビーイームは坂の上りで力尽き、抜け出したエコロデュエルが最後は5馬身差をつけてコルを駆け抜けた。

ワントサイドの完勝で春秋J・G I制覇